

岡山市備蓄計画

令和5年9月

岡 山 市

目 次

1 はじめに	1
2 備蓄計画策定に係る考え方	2
(1) 備蓄物資目標数量(人分)	2
(2) 備蓄品目	2
(3) 備蓄目標	4
3 整備(購入)計画	11
(1) 食料及び水	11
(2) 生活必需品	11
(3) 資機材等	12
4 家庭内備蓄について	13
5 企業内備蓄について	14
6 調達物資について	15
7 救援物資について	19
8 備蓄倉庫について	20
(1) 集中備蓄倉庫	20
(2) 分散備蓄倉庫	21
(3) 備蓄倉庫における備蓄目標	23

1 はじめに

岡山市の備蓄計画においては、自助・共助の考え方を基本とし、市民による日頃からの家庭内備蓄、流通業界等からの調達物資①、他都市からの救援物資②等を考慮しながら、市民、企業、行政が一体となり災害に対処することを目標としています。

本計画は、平成24年11月に策定し、平成25年11月には「岡山市地震被害想定調査の南海トラフ巨大地震による避難所避難者数想定結果」に基づき、備蓄目標数の修正を行いました。

しかし、平成28年4月に発生した熊本地震では、前震と本震の2度にわたる震度7の地震が発生したことなどから、死者249名(震災関連死含む)、負傷者2,790名(平成29年10月16日11:00 現在)、ピーク時の避難者が18万人発生し、避難所運営や避難所以外の避難者への対応、支援物資の受入・運搬、各機関間での情報共有のあり方など、改めて、強化していくべき課題が浮き彫りとなったことを受け、本計画について、国の動向や熊本地震などから得られた課題・教訓を踏まえ、さらなる備蓄体制の強化を図ることを目的として、計画の見直しを行いました。

また、平成30年7月豪雨での教訓、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、計画の見直しを行いました。

このような中、この度岡山市では、災害種別ごとの被災想定調査を実施し、洪水、土砂災害、高潮といった、災害種別ごとの避難者を算出するとともに、「岡山市地震被害想定調査の南海トラフ巨大地震による避難所避難者数想定結果」における避難者について、時点修正を行いました。これらの結果を踏まえ、今後も南海トラフ巨大地震発生時の避難者数に基づく備蓄を実施していきます。さらに、災害時における岡山県の目標物資確保量や、現実的な物資運搬の考え方を加味し、備蓄目標の見直しを行いました。また、備蓄物資の充実のため、備蓄項目の見直しを行いました。

なお、この備蓄計画の期間は、令和5年度から5年間とし、新たな課題が生じた場合には、その都度検討を加え、修正するものとします。今後は、想定最大規模降雨の被災想定算出結果等も踏まえ、必要に応じて備蓄物資支給対象者数や備蓄数の見直しなどを想定しています。

① 調達物資：市が流通業界等の企業と協定を締結し、災害時に調達する物資をいう。

② 救援物資：市が他都市と協定を締結し、災害時に調達する物資をいう。

2 備蓄計画策定に係る考え方

(1) 備蓄物資目標数量（人分）

備蓄物資目標数量（人分）については、「被災想定調査（令和4年5月）」の結果、立退避難者数が最も多いことが想定される、南海トラフ巨大地震による避難者数、115,365人に基づいて算出します。

ただし、食料、水、毛布に関しては、帰宅困難者需要に備えるために、115,365人分の物資に1.2を乗じるものとします。さらに、南海トラフ巨大地震発生時には、各分散備蓄倉庫から物資を運び出し、開設避難場所に配送することが現実的に困難であるため、津波の浸水想定区域内の小学校区に位置しない分散備蓄倉庫に保管されている食料・水・毛布については、「津波の浸水地域外の分散備蓄分」とし、追加で備蓄するものとします。

なお、岡山市では救援物資が到着するまでの3日分を備蓄することとします。

表1 被災想定調査結果

災害種別	立退避難数数（人）
洪水L1	37,893
土砂災害	31,422
洪水L1+土砂災害	68,229
高潮（T0416モデル）	9,745
南海トラフ巨大地震	115,365

備蓄物資目標数量（食料、水、毛布）：115,365人分×1.2+13,000人分

= 151,438人分

備蓄物資目標数量（上記以外）：115,365人分

(2) 備蓄品目

備蓄の品目については、食料や毛布、ボックストイレ、粉ミルク、水、哺乳瓶、紙おむつ、生理用品、トイレトペーパー、マスク、懐中電灯、カセットコンロ（カセットガス含む）、簡易ベッド、簡易間仕切り、車椅子、ブルーシート、投光機、ガス発電機（カセットガスを含む）を引き続き備蓄します。また、新たにエンジン発電機、救急箱を備蓄します。

① 食料及び水

(ア) クラッカー

想定される避難者のうち、3歳から74歳以下までの方に、長期保存が可能で、栄養価が高く、容易に食べられるクラッカー3食分（1日1食×3日）を備蓄します。

なお、食物アレルギー等がある方には、アレルギー特定原材料等28品目を含まないクラッカーを10%以上備蓄します。

(イ) アルファ化米

想定される避難者のうち、3歳から74歳以下までの方に、主食の米飯に近く、長期保存が可能で、調理器具や食器も必要とせず食べられるアルファ化米6食分（1日2食×3日分）を備蓄します。

なお、食物アレルギー等がある方には、アレルギー特定原材料等28品目を含まないアルファ化米を10%以上備蓄します。

(ウ) アルファ化米（おかゆ）

想定される避難者のうち、1歳から2歳までの幼児や75歳以上の高齢者の方に、アルファ化米（おかゆ）3日分を備蓄します。

なお、食物アレルギー等がある方には、アレルギー特定原材料等28品目を含まないアルファ化米（おかゆ）を10%以上備蓄します。

(エ) 粉ミルク

想定される避難者のうち、乳幼児（0歳）に3日分を備蓄します。

なお、アレルギー対応粉ミルクを10%以上備蓄します。

また、断水等を想定して、粉ミルクの一部について、需要を勘案しながら、液体ミルクとして備蓄することを検討します（※まずは少量備蓄し、スムーズに有効活用が行えるか検証中）。

(オ) 水（500ml入り）

危機管理室では、想定される避難者の全員に1日分（500ml入りの水を6本）を備蓄します。残りの2日分は、岡山市水道事業総合基本計画を考慮し、給水車や小中学校へ設置している応急給水栓を利用することとします。

② 生活必需品

生活必需品については、次のとおり備蓄しますが、哺乳瓶、紙おむつ（子ども用）、紙おむつ（大人用）、生理用品、ボックストイレ用排便収納袋、トイレトーパーは、調達物資や救援物資の現状を考慮して、3日分を備蓄することとします。

(ア) 哺乳瓶

(イ) 紙おむつ（子ども用）

(ウ) 紙おむつ（大人用）

(エ) 生理用品

(オ) 毛布

(カ) ボックストイレ

- (キ) ボックストイレ用簡易テント (ク) 排便収納袋
 (ケ) トイレトペーパー (コ) マンホールトイレ上部構造物
 (サ) マスク ※ □で囲まれているものは3日分を備蓄します。

③ 資器材等

資器材等については、次のとおり備蓄します。

- (ア) 懐中電灯 (イ) カセットコンロ (カセットガス含む)
 (ウ) ①消毒液 ②非接触型体温計 (エ) 簡易ベッド (オ) ①パーティション
 ②テント (プライベートルーム (天井あり))
 (カ) スポットクーラー (キ) テレビ (ク) 車椅子 (ケ) ブルーシート
 (コ) 投光器 (サ) ガス発電機 (カセットガス含む) (シ) エンジン発電機
 (ス) 救急箱

(3) 備蓄目標

食料、水、毛布は151,438人分を、それ以外の物資は115,365人分を、年代や性別を考慮して算定します。

なお、目標数量は、岡山県災害時相互応援連絡協議会における岡山県の目標物資確保量を踏まえたものとして算定します。

区分	割合	備考
3歳から74歳までの方	83.25%	アルファ化米、クラッカー
1歳、2歳及び75歳以上の方	16.75%	アルファ化米 (おかゆ)
乳幼児0歳	0.74%	粉ミルク、哺乳瓶
乳幼児0歳から3歳までの方	3.05%	紙おむつ (子供用)
要介護度3以上の方	1.30%	紙おむつ (大人用)
10歳から55歳までの女性の方	27.20%	生理用品

(令和4年9月末現在 男女別・年齢別 住民基本台帳人口及び要介護度3以上人口に基づき算定)

※要介護度3以上の方については、市提供情報より市全体で9,140人として算定。

① 食料及び水

(ア) クラッカー

【対象】 3歳から74歳までの方

1人当たり3食分 (1日1食×3日分) を備蓄します。

【備蓄目標】

151,438人分×83.25%×3食分 ≒ 379,000食

うちアレルギー対応については379,000食×10% ≒ 37,900食

(イ) アルファ化米

【対象】 3歳から74歳までの方

1人当たり6食分（1日2食×3日分）を備蓄します。

【備蓄目標】

$$151,438人分 \times 83.25\% \times 6食分 = 210,750食^{\text{③}} \quad \div \quad \boxed{546,000食}$$

$$\text{うちアレルギー対応については} 546,000食 \times 10\% \quad \div \quad 54,600食$$

③ 岡山県の目標物資確保量

(ウ) アルファ化米（おかゆ）

【対象】 1歳、2歳及び75歳以上の方

1人当たり9食分（1日3食×3日分）を備蓄します。

【備蓄目標】

$$151,438人分 \times 16.75\% \times 9食分 \quad \div \quad \boxed{229,000食}$$

$$\text{うちアレルギー対応については} 229,000食 \times 10\% \quad \div \quad 22,900食$$

(エ) ①粉ミルク

【対象】 乳幼児0歳

1回当たり200ml（粉ミルク換算で27g）として、1日に5回（粉ミルク換算135g）、3日分を備蓄します。

【備蓄目標】

$$151,438人分 \times 0.74\% \times 135g/日 \times 3日分 = 83kg^{\text{④}} \quad \div \quad \boxed{380kg}$$

④ 岡山県の目標物資確保量

②液体ミルク（200ml入り）（アレルギー対応）

【対象】 乳幼児0歳

$$\text{【備蓄目標】 } 240本/日 \times 3日分 = \boxed{720本}$$

(オ) 水（500ml入り）

【対象】 全員の方

500ml入りを1人当たり6本（1日分）備蓄します。なお、この他に給水車からの給水や応急給水栓を活用し、必要量を確保することとします。

【備蓄目標】

$$151,438人分 \times 6本 \quad \div \quad \boxed{909,000本}$$

② 生活必需品

(ア) 哺乳瓶

【対象】 乳幼児0歳

1人当たり1日1本として3日分を備蓄します。

【備蓄目標】

$$151,438人分 \times 0.74\% \times 3日分 \div \boxed{3,400本}$$

(イ) 紙おむつ（子ども用）

【対象】 乳幼児0歳から3歳までの方

1人1日当たり8枚として、3日分を備蓄します。

【備蓄目標】

$$115,365人分 \times 3.05\% \times 8枚 \times 3日分 - \underline{4,060枚}^{\text{⑤}} \div \boxed{81,000枚}$$

⑤ 岡山県の目標物資確保量

(ウ) 紙おむつ（大人用）

【対象】 要介護度3以上の方

1人1日当たり6枚として、3日分を備蓄します。

【備蓄目標】

$$115,365人分 \times 1.30\% \times 6枚 \times 3日分 - \underline{805枚}^{\text{⑥}} \div \boxed{27,000枚}$$

⑥ 岡山県の目標物資確保量

(エ) 生理用品

【対象】 10歳から55歳までの女性の方

4週間に1回として換算し、1人当たり3日分として10枚を備蓄します。

【備蓄目標】 $115,365人分 \times 27.20\% \div 4 \times 10枚 - \underline{4,905枚}^{\text{⑦}}$

$$\div \boxed{74,000枚}$$

⑦ 岡山県の目標物資確保量

(オ) 毛布

【対象】 全員の方

1人当たり1枚として備蓄します。

【備蓄目標】 $151,438人分 \times 1枚 \div \boxed{152,000枚}$

(カ) ボックストイレ

【対象】 紙おむつ使用者を除く全員の方

50人当たり1基として備蓄します。なお、小中学校の避難所における開放スペースの洋式トイレを使用することを前提として、その数は差し引きます。

※要配慮者用として、ボックストイレ用手すりを備蓄する

【備蓄目標】 $(115,365人分 - \underline{3,523人分}^{\text{⑧}} - \underline{1,500人分}^{\text{⑨}}) \div 50人 \times 1基$

$$- \underline{900基}^{\text{⑩}} \div \boxed{1,400基}$$

※ボックストイレ用手すり（要配慮者用）127セット

(キ) ボックスタイレ用簡易テント

【対象】 紙おむつ使用者を除く全員の方

ボックスタイレ1基当たり1張として備蓄します。

【備蓄目標】 $(115,365人分 - 3,523人分^{⑧} - 1,500人分^{⑨}) \div 50人 \times 1基 - 900基^{⑩} \div 1,400基$

(ク) 排便収納袋

【対象】 紙おむつ使用者を除く全員の方

1人当たり1日5枚として3日分を備蓄します。

【備蓄目標】 $(115,365人分 - 3,523人分^{⑧} - 1,500人分^{⑨}) \times 5枚 \times 3日分 - 134,700枚^{⑪} \div 1,520,000枚$

(ケ) トイレトーパー

【対象】 紙おむつ使用者を除く全員の方

3日分を備蓄します。

【備蓄目標】 $(115,365人分 - 3,523人分^{⑧} - 1,500人分^{⑨}) \div (60m/[1個] \div 5m/[1人5回使用量]) \times 3日分 - 3,605個^{⑫} \div 24,000個$

⑧ 紙おむつ(子ども用)使用者: 3,523人(115,365人×3.05%)

⑨ 紙おむつ(大人用)使用者: 1,500人(115,365人×1.30%)

⑩ 小中学校の避難所における開放スペースの洋式トイレ数

⑪ 岡山県の目標物資確保量

⑫ 岡山県の目標物資確保量

(コ) マンホールトイレ上部構造物

下水道総合地震対策計画(下水道河川局)の「マンホールトイレ整備計画」に基づき、マンホールトイレ上部構造物を備蓄します。

【対象】 避難所となる市立の小学校及び中学校 76校

①便座(一般用 4基/校、障害者用1基/校)

380基

②テント(一般用4基/校、障害者用1基/校)

380基

③取水ポンプ式

76基

④収納倉庫

(サ) マスク

【対象】 全員の方 1人当たり3枚(1日1枚×3日分)として備蓄します。

【備蓄目標】 $115,365人分 \times 3枚 - 149,600枚^{⑬} \div 197,000枚$

⑬ 岡山県の目標物資確保量

③ 資機材等

(ア) 懐中電灯

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり2本として備蓄します。

【備蓄目標】(89箇所+37箇所)×2本 = 252本

(イ) カセットコンロ(ガス含む)

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり2台として備蓄します。なお、カセットガスについては、1台あたり6本を備蓄します。

【備蓄目標】(89箇所+37箇所)×2台
= 252台(カセットガス1,512本含む。)

(ウ) ①消毒液

【対象】避難所のうち市立の小学校、中学校、公民館、協定避難場所ほか
1箇所あたり25ℓとして備蓄します。

【備蓄目標】25ℓ×200箇所(89箇所+37箇所+37館+37箇所)
= 5,000ℓ

②非接触型体温計

【対象】避難所のうち市立の小学校、中学校、公民館、協定避難場所ほか
1箇所あたり2個として備蓄します。

【備蓄目標】2個×200箇所(89箇所+37箇所+37館+37箇所)
= 400個

(エ) 簡易ベッド

【対象】感染症対策、飛沫感染予防として、避難者5,000人分
(平成30年7月豪雨避難者3,313人を上回る災害への対応)

【備蓄目標】5,000人×1個 = 5,000個
小・中学校 630個(126箇所×5個)
集中備蓄 4,370個

(オ) ①パーティション(屋根付き)

【対象】感染症対策、飛沫感染予防として、避難者5,000人分
(平成30年7月豪雨避難者3,313人を上回る災害への対応)

【備蓄目標】5,000人×1個 = 5,000個
小・中学校 630個(126箇所×5個)
集中備蓄 4,370個

②テント（プライベートルーム）

【対象】乳児の授乳、診察などの要配慮者スペースとして、
避難所のうち市立の小学校、中学校、公民館、協定避難場所 4張
各区役所 10張

【備蓄目標】200箇所（89箇所+37箇所+37箇所+37箇所）×4張
+4区役所×10張 = 840張

（カ）スポットクーラー

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり2台として備蓄します。
そのうち災害リスクの高い48校には1基追加配備します。

【備蓄目標】（89箇所+37箇所）×2台
+48箇所×1台 = 300台

（キ）テレビ

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校、公民館、県立高等学校ほか
1箇所あたり1台として備蓄します。

【備蓄目標】（89箇所+37箇所+37箇所）×1台 + 7台
= 170台

（ク）車椅子

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり1台として備蓄します。
要配慮者用として、牽引式車イス補助装置を備蓄します。

【備蓄目標】（89箇所+37箇所）×1台 = 126台
※牽引式車イス補助装置 126セット

（ケ）ブルーシート

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり5枚として備蓄します。

【備蓄目標】（89箇所+37箇所）×5枚 = 630枚

（コ）投光器

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校
小・中学校1箇所あたり1台として備蓄します。

【備蓄目標】（89箇所+37箇所）×1台 = 126台

(サ) ガス発電機（ガス含む）

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校、公民館、その他避難情報発令と同時に開設する避難所

小・中学校、公民館等につき1か所当たり1台として備蓄します。

なお、カセットガスについては、1台当たり24本を備蓄します。

【備蓄目標】（89校＋37校＋37館＋7か所）×1台

=

170台

（カセットガス4,104本を含む。）

(シ) エンジン式発電機

【対象】今後岡山市が脱炭素先行地域に移行するまでの暫定措置として、エンジン発電機を各区に1台ずつ備蓄します。

【備蓄目標】

4区×1台 =

4台

数量は、脱炭素先行地域づくり事業の進捗に応じて検証することとします。

また、避難所の電力確保資機材として、蓄電池等の導入も検討します。

(ス) 救急箱

【対象】避難所のうち市立の小学校及び中学校、公民館、その他避難情報発令と同時に開設する避難所

小・中学校、公民館等につき1か所当たり救急箱1セットを備蓄します。

【備蓄目標】（89校＋37校＋37館＋7か所）×1セット =

170箱

3 整備（購入）計画

整備（購入）計画を次のとおり定めます。

（1）食料及び水

① クラッカー及びアルファ化米

5年以上の保存期間があるものを計画的に購入します。

② 粉ミルク及び液体ミルク

2年程度の保存期間があるものを計画的に購入します。

また、断水等を想定して、粉ミルクの一部について、需要を勘案しながら、液体ミルクとして備蓄することを検討します（※まずは少量備蓄し、スムーズに有効活用が行えるか検証中）。

③ 水（500ml入り）

5年以上の保存期間があるものを計画的に購入します。

なお、保存期間が残り1年未満となった食料及び水については、市の総合防災訓練時に配布するとともに、要望に応じて自主防災組織等の訓練や出前講座の際に配布します。

さらに、市の様々なイベントで活用することによって、市民の防災意識の高揚を図ります。

また、防災教育の一環として、小・中学校への配布を検討します。

（2）生活必需品

① 哺乳瓶・紙おむつ・生理用品・マスク

保存状況や衛生面を考慮しながら計画的に購入します。

② 毛布

長期保存が可能な真空パック入りの毛布を計画的に購入します。

③ ボックストイレ・ボックストイレ用簡易テント・排便収納袋・トイレットペーパー

保存状況や衛生面を考慮しながら計画的に購入します。

また、要配慮者用として、ボックストイレ用手すりの購入を検討します。

備蓄物資として適さなくなった、生活必需品についても、可能な限り再利用するものとします。

さらに、10年以上の年数が経過した毛布については、クリーニング及び真空パックによる再使用を検討します。

(3) 資機材等

- ①カセットコンロ（カセットガス含む）・簡易ベッド・簡易間仕切り・車椅子・ブルーシート・投光器・懐中電灯・ガス発電機（カセットガス含む）・エンジン発電機・救急箱

保存状況を考慮しながら計画的に購入します。

- ②マンホールトイレ上部構造物（便座、テント、取水ポンプ式、収納倉庫）

下水道総合地震対策計画（下水道河川局）の「マンホールトイレ整備計画」に基づき、マンホールトイレ上部構造物を備蓄します。

4 家庭内備蓄について

家庭内備蓄の意義や必要性について、パンフレットや広報誌、自主防災会等を通じて、市民に対して継続的に広報を行っていくこととします。

家庭内備蓄の広報に際しては、3日以上以上の食料や1人1日3リットル以上の飲料水の備蓄を呼びかけていくとともに、災害発生時にすぐに取り出せる場所に保管するよう併せて呼びかけていきます。

[家庭で用意することが望ましいもの]

○食料等（※3日以上）

主食	アルファ化米・レトルト食品（白米、白粥、五目御飯など）・米・冷凍麺（うどん、そば）インスタント麺・スパゲッティ・ビスケット・クラッカー・アレルギー対応食 など
主菜・副菜	缶詰（魚介類、肉類、野菜類、シチュー類）、レトルト食品（カレー、パスタソース、乾燥食品（切り干し大根、干し椎茸、高野豆腐、ひじき、わかめ、昆布 など）、梅干、らっきょう、漬物 など
汁物	スープ類（みそ汁、わかめスープ、コーンポタージュ など）
調味料	砂糖、塩、みそ、しょうゆ、コンソメ など
嗜好品	あめ、チョコレート、スナック菓子、果物缶詰、ふりかけ など
飲料水	ミネラルウォーター、お茶、スポーツドリンク、野菜ジュース、スキムミルク など

○水（※1人当たり1日3リットル以上）

○資機材等

携帯ラジオ、懐中電灯、軍手、タオル、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ、ばんそうこう、医薬品、マスク、消毒液 など

5 企業内備蓄について

大規模災害が発生した場合、消防・自衛隊等の行政機関は、道路の渋滞や多数の出動要請等により即座に企業からの救援要請に対応できるとは限りません。

阪神淡路大震災の際にも近所の人等に救助された人が全体の7割で、消防・自衛隊等に救助された人は3割に過ぎないという事例もあります。

このため、企業等は、ライフラインの復旧にめどが立つ3日分程度の備蓄品を確保し、必要であれば、安全が確認できるまでの間、会社施設内に社員を待機させることが可能となるようにする必要があります。

また、所有する施設の耐震性を強化するとともに収納棚等の転倒防止などにも取り組み、社員等の安全確保にも努める必要があります。

[企業等で用意することが望ましいもの]

○食料・飲料水 3日分以上

○資器材等

毛布、簡易トイレ、医薬品、ラジオ、乾電池、懐中電灯、ヘルメット、軍手、マスク、消毒液など

6 調達物資について

本市では、流通業界等の業者と協定を締結し、災害時に、必要な物資を調達することとしていますが、このような、業者から調達する物資を「調達物資」としています。

今後も協定の締結を推進し、調達物資がいざというときに有効に機能する体制としていきます。

■食料品・飲料水・日用品雑貨等（スーパー・コンビニ等）

事業者名	所在地	連絡先	主な取扱品目
(株)アイスライン	岡山市北区青江二丁目 4-6	<u>TEL:086-224-5235</u>	氷、ドライアイス
イオンリテール(株)中四国カンパニー	広島市南区段原南一丁目 3-52	<u>TEL:082-535-7600</u> FAX:082-535-7600	食料品、飲料水、生活必需品
(株)伊藤園	東京都渋谷区本町三丁目 47-10	TEL:086-270-7710 FAX:086-271-3322	飲料水
(株)イトーヨーカ堂	東京都千代田区二番町 8-8	TEL:03-6238-3300 FAX:03-6238-3300	食料品、飲料水、生活必需品
岡山流通情報懇話会事務局：(株)天満屋ストア)	岡山市北区岡町 13-16	TEL:086-232-7265 FAX:086-224-5724	食料品、飲料水、日用品等
(株)ナック	東京都新宿区西新宿一丁目 25-1	<u>TEL:0495-73-3511</u>	飲料水、ウォーターサーバー
(株)ファミリーマート	東京都港区芝浦三丁目 1-21 msb amachi 田町ステーションタワーS	<u>TEL:03-6436-7658</u>	食料品、飲料水、日用品等
(株)ポプラ	広島市安佐北区安佐町大字久地 665-1	TEL:086-897-1188 FAX:086-262-7272	食料品、飲料水、生活必需品
マックスバリュ西日本(株)	兵庫県姫路市北条口四丁目 4	TEL:082-535-8500 FAX:082-261-0056	食料品、飲料水、食器類、日用品雑貨、光熱材料
(株)ローソン	東京都品川区大崎一丁目 11-2	<u>TEL:03-5435-1594</u>	食料品、飲料水、日用品等
株式会社ハークスレイ(ほっかほっか亭)	岡山市南区新保 430	<u>TEL:086-241-1441</u>	弁当類

■食器類・日用品雑貨・光熱材料・作業用品等（ホームセンター等）

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
コーナン商事（株）	大阪府堺市西区鳳東町四丁目 401-1	TEL:086-944-7870 FAX:086-944-7871	食料品、飲料水、食器類、日用品雑貨、光熱材料
NPO 法人コメリ災害対策センター	新潟市清水 4501-1	TEL:025-371-4185 FAX:025-371-4151	飲料水、作業関係用品、日用品雑貨、冷暖房機器、電気用品、トイレ関係
（株）ジュンテンドー	島根県益田市下本郷町 206-5	<u>TEL:082-890-1232</u>	日用品雑貨、作業関係用品、冷暖房機器、電気用品等
ダイキ（株）	愛媛県松山市美沢一丁目 9-1	<u>TEL:089-925-1111</u>	食器類、日用品雑貨、光熱材料、工具等
（株）リックコーポレーション	岡山市北区下中野 465-4	<u>TEL:086-245-2002</u>	飲料水、作業関係用品、日用品雑貨、冷暖房器具、電気用品、トイレ関係等
（株）ビッグ・エス	香川県高松市多肥上町 1210	<u>TEL:087-888-7733</u>	食器類、日用品雑貨、光熱材料、工具類
（株）モミジヤ運動具店	岡山市東区西大寺中野 500-8	TEL:086-943-6000 FAX:086-943-6001	食料品、飲料水、食器類、日用品雑貨、光熱材料
トラスコ中山（株）	東京都港区新橋四丁目 28-1	TEL:06-6543-9830 FAX:086-235-0570	モノづくり大辞典トラスコオレンジブック掲載生活必需品
高山産業(株)	岡山市北区清輝橋一丁目 8-21	TEL:086-223-3180 FAX:086-233-5419	モノづくり大辞典トラスコオレンジブック掲載生活必需品
5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会	神戸市兵庫区永沢町三丁目 8-8	TEL:086-264-7575 FAX:086-262-5502	畳

■アレルギー対応等特殊食品

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
岡山県医薬品卸業協会	岡山市北区表町一丁目 3-50	TEL:086-224-3320 FAX:086-224-4763	特殊粉ミルク（アレルギー対応等）、離乳食（アレルギー対応等）、濃厚流動食（そしゃく、えんげ困難者対応等）

■ガス

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
一般社団法人岡山県エルピーガス協会	岡山市北区厚生町三丁目 1-15 岡山商工会議所 5F	TEL:086-225-1636 FAX:086-225-2762	LP ガス、ガス機材

■特殊ボード・段ボール品

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
大建工業（株） （岡山工場）	岡山市南区海岸通二丁目 5-8	TEL:086-262-1137 FAX:086-263-5520	避難所ボード （10,000 枚）
西日本段ボール工業組合	大阪市中央区森之宮中央一丁目 16-16	TEL:06-6941-5212 FAX:06-6941-5257	段ボール製簡易ベッド、段ボール製シート、段ボール製間仕切り等

■レンタル資機材

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
（株）アクティオ	東京都中央区日本橋三丁目 12-2 朝日ビルディング 7F	<u>TEL:086-805-3433</u>	簡易水洗式トイレ、発電機、投光器、ストーブ、ウォータークーラー、スポットクーラー等
太陽建機レンタル（株）	静岡市駿河区大坪町 2-26	TEL:086-241-8822 FAX:086-244-9333	簡易水洗式トイレ等
トヨタ L&F 岡山（株）	岡山市北区久米 160	TEL:086-241-5388 FAX:086-243-9464	荷役・輸送用資機材等
西尾レントオール株式会社東中国営業部	岡山市南区新保 687-31	<u>TEL:086-250-2408</u>	発電機、簡易水洗式トイレ等

事業者名	所在地	会社連絡先	主な取扱品目
キャンピングカー (株)	東京都渋谷区代々木 2-8-6 号 新宿駅前 サウスビル1階	TEL:086-238-8037 ※NPO 法人パラママ につながります。	キャンピングカー
平成レンタカー(株)	岡山県倉敷市児島駅 前4-1		
株式会社まつもとコ ーポレーション	岡山市北区表町3ー 14ー1	TEL:086-230-1155	ムービングオフィス (車)
・西日本三菱自動車 販売(株) ・三菱自動車工業 (株)	・大阪府大阪市淀川 区新高一丁目4-10 ・東京都港区芝浦三 丁目1-21	TEL:06-6398-2100 TEL:03-3456-1111	EV 車 PHEV 車
大東建託(株)	東京都港区港南二丁 目16番1	TEL:03-6718-9000 FAX:03-6718-9200	トレローム
(株)ユニオンアル ファ	兵庫県加古川市野口 町坂元 329-60	TEL:086-281-8222	テント 仮設トイレ

7 救援物資について

東日本大震災及び熊本地震では、一箇所に救援物資が大量に届けられ、仕分けの能力を超えたため、救援物資が山積になってしまったというケースも見受けられました。

その要因の一つとして、個人からの救援物資に多種多様の物が詰められて送られてくるため、その開封・仕分け作業に時間がかかったことが考えられます。

そこで、本市では自治体や企業、団体からの救援物資を優先し、個人からの救援物資については、極力、辞退することとします。

また、その形態についても、単品梱包とし、内容・数量をラベル表示してもらうこととします。

■物資等の相互応援に関する協定一覧

協定名	内容	協定団体
21大都市災害時相互応援に関する協定	食料、飲料水、生活必需物資及び資器材の提供	札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都、川崎市、横浜市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市
中国・四国地区都市防災連絡協議会災害時相互応援協定	食料、飲料水、生活必需物資及び資器材の提供	鳥取市、松江市、岡山市、広島市、山口市、徳島市、高松市、松山市、高知市
岡山県及び県内各市町村の災害時相互応援協定	食料、飲料水、生活必需物資及び資器材の提供	岡山県、岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
岡山市及び尼崎市災害時相互応援に関する協定	食料、飲料水、生活必需物資及び資器材の提供	岡山市、尼崎市
災害時相互応援協定	食料、飲料水、生活必需物資及び資器材の提供	岡山市、姫路市、鳥取市

8 備蓄倉庫について

岡山市では、東日本大震災や平成23年9月の台風12号等の教訓を活かし、備蓄物資をより迅速に運搬・配布できるようにするために、既存施設を利用した集中備蓄に加えて、各区役所等や避難所となる小中学校への分散配備をすすめています。

(1) 集中備蓄倉庫

各区への備蓄物資を補完・補充するとともに、避難者が多い避難所へ直接、備蓄物資を運搬・配布するため、集中的に備蓄物資を配備します。

なお、既存施設では、フォークリフトで作業ができない空きスペースや2階以上などに物資を保管しており、災害時の速やかな搬出が困難なことから、令和4年度からは、より迅速・効率的に配送ができるように、各区を拠点に、備蓄専用の倉庫を整備します。

	備蓄倉庫名	所在地
北区	岡山ドーム観客席下備蓄倉庫	岡山市北区北長瀬表町1-1-1
	旧市民病院別館	岡山市北区東中央町3-14
	旧大井小学校	岡山市北区大井2314
	北長瀬未来ふれあい総合公園集中備蓄倉庫	岡山市北区野田4-18-2
	北区集中備蓄倉庫（令和7年度予定）	未定
東区	西大寺緑花公園備蓄倉庫	岡山市東区西大寺南 1-2-3
	東区集中備蓄倉庫（令和5年度予定）	
南区	南区集中備蓄倉庫	岡山市南区浦安 495-5
中区	中区集中備蓄倉庫（令和6年度予定）	未定

(2) 分散備蓄倉庫

災害時において、すみやかに備蓄物資の運搬・配布ができるよう、各区へ備蓄物資を配備します。

分散備蓄場所			
各区役所、各支所、各地域センター、各ふれあいセンター、各公民館他			
小学校（90カ所）			
北区管内	中区管内	東区管内	南区管内
桃丘小	財田小	古都小	小串小
馬屋下小	旭竜小	政田小	灘崎小迫川分校
三門小	旭操小	旧大宮小	彦崎小
鯉山小	操南小	旧太伯小	妹尾小
加茂小	操明小	旧幸島小	箕島小
福渡小	旭東小	旧朝日小	福島小
建部小	富山小	西大寺小	芳泉小
竹枝小	幡多小	豊小	芳田小
牧石小	宇野小	雄神小	曾根小
岡山中央小	平井小	角山小	興除小
大元小	三勲小	城東台小	東疇小
御津小	竜之口小	御休小	第一藤田小
御津南小	高島小	平島小	第二藤田小
野谷小		江西小	第三藤田小
馬屋上小		西大寺南小	福浜小
横井小		可知小	福田小
庄内小		開成小	芳明小
伊島小		千種小	甲浦小
津島小		浮田小	七区小
吉備小		芥子山小	平福小
陵南小			浦安小
御野小			南輝小
中山小			灘崎小
平津小			
五城小			
鹿田小			
石井小			
御南小			

大野小			
清輝小			
西小			
岡南小			
蛭明小			
足守小			
中学校（36 力所）			
北区管内	中区管内	東区管内	南区管内
中山中 建部中 御南中 京山中 吉備中 御津中 岡山中央中 高松中 桑田中 岡北中 香和中 岡山後楽館（中高一貫） 石井中 岡輝中 足守中（蛭明小）	操山中 富山中 高島中 操南中 竜操中 東山中	旭東中 上南中 上道中 西大寺中 瀬戸中	光南台中 灘崎中 福南中 芳田中 藤田中 興除中 福田中 妹尾中 福浜中 芳泉中
義務教育学校（1 力所）			
北区管内	中区管内	東区管内	南区管内
		山南学園	

※足守中学校は、同一施設である蛭明小学校に含めるものとする。

(3) 備蓄倉庫における備蓄目標

備蓄品目	備蓄目標
クラッカー	379,000食
アルファ化米	546,000食
アルファ化米（おかゆ）	229,000食
粉ミルク	380kg
液体ミルク（200ml入り缶）	720本
水（500ml入りペットボトル）	909,000本
哺乳瓶	3,400本
紙おむつ（子供用）	81000枚
紙おむつ（大人用）	27,000枚
生理用品	74,000枚
毛布	152,000枚
ボックストイレ	1,400基
ボックストイレ用簡易テント	1,400基
排便収納袋	1,520,000枚
トイレットペーパー	24,000個
マンホールトイレ	380基
マンホールトイレ用ポンプ式	76基
マンホールトイレ用テント	380基
マスク	197,000枚
懐中電灯	252本
カセットコンロ	252台
カセットガス	1,512本
消毒液	5,000ℓ
非接触型体温計	400個
簡易ベッド	5,000個
パーティション	5,000個
テント（プライベートルーム）	840張
スポットクーラー	300台
テレビ	170台
車椅子	126台
ブルーシート	630枚
投光器	126台
ガス発電機	170台
発電機用カセットガス	4,104本
エンジン発電機	4台
救急箱	170セット

岡山市備蓄計画

平成24年11月 策定

平成25年11月 修正

平成30年 2月 修正

令和2年 9月 修正

令和5年 9月 修正